

一九七七年二月一日第三種郵便物認可

発行所 社会通信社 発行人 滝野 忠

東京都渋谷区本町六丁目一八の二コーポル幡ヶ谷九〇四 電話(03)337714649 FAX(03)329915367  
振替 〇〇一〇〇一九一五八四三二 労金 中央労金本店 No.1154163

購読料 月額 600円 6カ月前納制

〈もくじ〉

■巻頭言

三公社民営化と郵政公社

滝野 忠……………2

県教委の不当な管理・統制が原因……………

3

―抗議と申し入れ(広島県教職員組合 二〇〇三年三月二日)―

高須小学校長の自殺と県教委の責任……………

4

対イラク戦争と現代世界のゆくえ

伊勢 太郎……………5

―次は朝鮮半島への包囲網?―

◇文芸春秋社刊◇

『フィデル・カストロ』のおもしろさ

滝野 忠……………9

解雇の嵐 闘うしかない

武庫川ユニオン……………11

―労働相談の事例から―

労組が対イラク侵略戦争に反対声明……………

13

読者からのおたより……………

13

# 旬刊 社会通信

NO. 865

二〇〇三年四月二日号

二〇〇三年四月二日発行  
(毎月一日・二日・二日三回発行)

## 三公社民営化と郵政公社

三公社（国鉄、電々公社、専売公社）が民営化されたのは一九八〇年代。国鉄は七社に分割、電々と専売はまるごとの民営化でNTT、日本タバコと名前を変えた。だがその後、NTTは持株会社NTTのもと事業ごとと分割（子会社化）、日本タバコは一社体制におかれているが、これはタバコと塩に重い税がかけられ、国家財政を支える一環となっているからだ。

今、五現業、特殊法人の民営化である。その中心は郵政、そして道路四公団。郵政の場合、省庁再編で総務省に部署をおく郵政企画管理局、その実務を担う郵政事業庁に分割された。郵政企画管理局は民間でいえば持株会社、郵政事業庁は子会社の事業会社との位置づけである。その郵政事業庁が四月一日、郵政公社に再編された。

諸外国でも郵政事業は民営化されている。しかし、日本の郵政事業と諸外国では事業内容はまったく違う。外国の郵政事業がポスト、つまり郵便、物流なのをしたいし、日本の郵政事業はポストだけでなく、バンク（銀行事業）、インシュランス（保険事業）を営んできたことだ。日本の郵政は日本一のみならず世界最大の金融機関の位置を占める。郵便貯金の残高は約二五〇兆円、簡易保険は約一三〇兆円。したがって三八〇兆円の資金を運用し、四大金融グループ（みずほ、東京三菱、三井住友、UFJ）を合わせた額よりもはるかに多い。

郵政民営化に火がついたのは数年前の金融自由化論が起った時。金貸業者（銀行屋）は郵政民営化すれば二五〇兆にも届こうかという天文学的資金を銀行が運営することになると思い込んだのだ。国鉄分割民営化を考えてみれば、これは夢物語りでけっして銀行にプラスになることはないのはわかりきったことだ。JR七社、とりわけ本州三社は大都市圏の要衝を独占し、大手民間鉄道会社の資本力を圧倒する。関東、東海、関西の民鉄はJR三社とのすさまじいばかりの競争に今では青息吐息である。その競争に勝ちぬくためにと企画した事業は次つぎと崩壊し、本体を圧迫している。民間鉄道会社の主力事業はレールを利用した観光、不動産、流通、小売業。それもJRが本格的に乗り出した今、資本にとっては悪夢の縮小再生産に追い込まれているのが実態である。

三公社民営化で旧三公社は支配力をいよいよ強めた。それはそうだろう、民営化されたとはいえ旧省庁と以前と同様のパイプをもち、「民営化が失敗したとなれば、おれたち政治家、官僚の威信にもかかわる」と、三公社時代以上にさまざまな優遇策が講じられるからだ。

郵政民営化にもそれはいえる。郵政は貯金、保険部門では他の民間金融機関をはるかに凌駕する力をもつ。さらにそれら資金が財政投融資資金という第二の予算の原資となっていることから郵政企画管理局をつうじ総務省との関係はますます深くなる。最大の弱点は「黒ネコ」と競合する郵政事業といわれるが、ここでも国が郵政公社を支援することは間違いない。現に、コンビニにポストを設置するばかりでなく、郵政公社への移行と時を同じくして、郵便局にコンビニを設置する方針が示された。すさまじい儲け主義である。

さらに職場はトヨタ生産方式をモデルとする管理統制下におかれている。希望退職者の激増は仕事に夢と希望を持ってないことのあらわれだ。

（滝野 忠）

## 県教委の不当な管理・統制が原因

—抗議と申し入れ（広島県教職員組合 二〇〇三年三月二日）—

三月九日「民間人校長」として二〇〇二年四月に尾道市立高須小学校に希望を胸に赴任した校長が満一年を前に自らの命を断った。なにゆえ校長は、死を選ばなければならなかったのか。痛恨の極みです。

広教組は、二〇〇一年一月二四日に拙速導入反対などとする「『校長に民間人起用』に対する抗議と申し入れ」を県教委に行っている。私たちの申し入れを無視し、その結果校長を死に追いやったことに抗議する。

県教委が、「民間人校長」として教職や学校運営についての基礎基本の「研修」もなく即教育現場へ、赴任させていることに大きな問題がある。「民間人校長」として始めて「年間指導計画」「学級経営」など教職員を指導、「学校経営目標」をつくるなど、激務であったことは想像に難くない。さらに高須小をはじめ尾道市では、全校公開研究の実施計画、シラバスのホームページ掲載など教職員の勤務実態は極に達していた。

このような状況の中で校長自身五月には、三カ月の病氣療養という診断書、さらに八月にも「そううつ病」の診断を受け、「辞めたい」などの意思を表明していたと聞いている。なぜ病氣休養を与えなかったのか。「民間人校長」という「メンツ」に県教委や尾道市教委がこだわった結果である。さらに五月には校長をサポートする教頭が病氣で倒れ、その後着任した教頭も倒れている。

県教育行政の学校の主体性を奪い管理・統制によって校長も教職員も勤務過剰になり心身に大きなストレスを抱えており、そのことを放置した県教委に強く抗議する。

また、県教委は今春から「新たな人事評価制度」「一〇年経験者研修」など校長への負担が大きい課題を導入しようとしていることが、校長の悩みを増幅させたと考えられる。

さらに、二〇〇二年度末人事異動に対して尾三教育事務所管内での校長ヒアリングでは、「学校運営上妨害をしている教職員を挙げるよう」各校長に強要している状況もあったと聞いている。「命令系統がちがう」ともらしていたこととあわせると、誤った管理・統制が管理職・教職員にたえがたいストレスを生じさせていることはまちがいない。

広教組は、校長の死を悼むとともに校長権限を侵し服務・監督を強め校長を「自死」に追いやった県教委に強く抗議する。県教委の教職員への不当な管理・統制が続く限り、本日の報道のように、「休職中の教諭自殺」は後を絶たない。教職員の病休や精神疾患が増加することが懸念される。

記

1、校長の「病氣休暇願い」をなぜ受理しなかったのか明らかにすること。  
2、校長「自死」の要因を調査し、二度とこのような不幸な出来事が起こらないようにする。

3、「民間人校長の起用」にあたっては、公募など民主的な方法で県民・教育関係者のコンセンサスのもとですすめること。

4、教職員への管理・統制ではなく、今後学校運営など広教組と協議しすめること。

## 高須小学校長の自殺と県教委の責任

—「日の丸」「君が代」強制の犠牲者—

高須小学校・慶徳和宏校長の自殺事件については、今日の社会荒廃とこれに対処する個人の生き方の問題としてとらえ、心の痛みを激しく感ずる。

文科省、県教委は社会経済の閉塞状態に対する文教行政上の手の打ちどころを知らない。彼らは自らの無力を当面は「日の丸」「君が代」の強制によって、世間の目をそちらにそらし、教育荒廃の真の社会的背景をごまかそうと必死に取り組んできた。

彼らからすれば、共産党が同和教育に敵対し、差別を助長していることをうまく使うことができた。保守反動と共産党が自民、民主などの中間派を挟み込むような形で、「子どもたちの教育」を「日の丸」「君が代」「元号」の天皇制イデオロギーの方向に誘導しているわけである。

イラクに対するアメリカの武力攻撃なる暗躍を、日本という国において支える思想的土壌を培うことになっている。

慶徳校長は「子どもたち」と楽しい学校生活を夢みていた。しかし、県教委の管理体制の先手として使われるだけで、教職員とのコンセンサスをはかること自体が「悪」とされるような雰囲気の中に身を投じたのである。

気づいたときは遅かった。「辞意」をもらしても、聞き入れて貰えなかった。事情を知る周囲の人から、そのことがピンピンと伝わってくる。

「抗うつ剤」を飲みながら、身と心に鞭打って頑張ってきたようだが、学校運営に不慣れであった。校長に学校経験がないのだから、教頭に重く荷がかかる。だから、一年のうち二人も教頭が変わったが、この人たちもダウンした。

結果的には、校長の立場が一層難しいものになってきた。

無責任な県教委は市教委を通じて学校運営、管理上の報告書の提出を求めるだけを、県教育行政とするいびつな格好になっている。七百数十人という小学校としては大規模校のことだから、教頭のいない学校の校長とすれば、ますます窮地に陥る。

それでも教職員の経験を持ち、教頭を務めたことのある校長なら、まだ何とかやれたかもしれない。

一人の教員が休めば、免許のある校長なら授業も代わって行うことができよう。しかし、高須小学校の場合は、そこがままならなかった。事務は渋滞するし、学校運営は当初、思い描いていたとおりにはいかなかった。

あけて、県教委の「日の丸」「君が代」強制による教育破壊の責任であると言わなければならぬ。慶徳校長はその犠牲者となったのである。そういう意味では、さらに心の痛みものを覚える。

県教委の言いなりになる尾道市教委の責任も大きい。

慶徳校長になつてから、一人の児童が病死したとき、その葬式に参列するときのイチヤモンのごとも常識のある校長にしてみれば、「授業時数」のことだけで社会の常識どおりにさせようとする教育行政に悲しみを覚えたであろう。

これから県教委は世羅高校の石川校長のときのように、自らの責任をごまかそうとする。教育再生のためにこれを許してはならない。

(『解放新聞広島版』)

# 対イラク戦争と現代世界のゆくえ

—次は朝鮮半島への包囲網？—

## 侵略戦争が始まった

ブッシュは頭脳明晰（せき）とはいえない人物であるようだ。それだけに、ブッシュの論理—というより考え方—は、きわめてわかりやすい。「アメリカこそ正義。それに逆らう奴は悪」というのである。侵略戦争は始まった。

戦争の構成要素は大きく三つ。

(1) 戦闘力。これは兵士と兵器体系からなる。イラクとアメリカでは最初から問題にならない。ハイテク兵器とそれを駆使する兵士。それにたいし、イラクは兵士・国民の戦闘意欲だけ。

(2) 国土と面積・人口。イラクの面積は四二万平方キロ、人口二千五百万。そのイラクにアメリカは同盟軍のイギリスをふくめ二十五万人の兵力で攻め入った。アメリカの拠点クエートから首都バグダッドへ、さらに北のクルド人支配地区—といっても、これは一九九一年の湾岸戦争終結時から、アメリカがイラク攻撃のための拠点と準備した地域—からバグダッドへの二正面作戦のためだった。だから、アメリカはこの地域をイラク空軍の飛行禁止区域とし、毎日のように空爆した。

(3) 同盟軍。アメリカはかつての湾岸戦争、東欧のコソボ、最近のアフガニスタンへの戦争で、EU、NATOを動員することに成功した。湾岸戦争では戦費六百億ドルの九〇%を日本他NATO諸国に転嫁した。日本は百億ドルを拠出し、世界の物笑いの種になった。

湾岸戦争と今回の戦争はまったく違う。湾岸戦争ではイラクがクエートに侵攻した。しかし、今回は国連の制裁下、国連決議なしにアメリカがイラクに侵攻した。だからEU諸国、NATOが分裂し、アメリカは同盟軍結成に失敗した。アメリカに追従し軍隊を派遣したのはイギリス、オーストラリアの民族的にはアングロサクソンだけ。それに、小泉君が追従しただけだ。

アメリカにとって予想外だったのは、ドルでほぼをぶったとき戦争協力を求めたトルコ。北部からの「侵略拠点に」が否決され、クエートからの南進だけとなった。

## 同盟政策は失敗

アメリカを積極的に支持するのは、イギリス、イタリア、スペイン、オーストラリア、そして日本だけ。その他は、アメリカからの援助だけを目的とする旧ソ連邦諸国、旧東欧、アメリカの支援で国家を維持しているアフガニスタン、トルコ、エチオピア、エリトリアといった国ぐにばかり。中近東ではクエートを除き、アメリカを支持する国は一つもない。

EU主要国のフランス、ドイツは反対。アメリカの援助なしにはなりたないと思われたロシア、中国も反旗をひるがえした。

同盟政策は失敗した。侵略軍は米英軍中心に二十五万人。これには空母群等をふくむから、地上軍は二十万弱。戦争の成否は古今東西「兵站（へいたん）」—食料・水、武器・弾薬、燃料、医療等—のあり方によって決まってきた。戦争が長引けば長引くほどそうで

ある。したがって、地上軍の戦闘部隊は十万人強。今回の戦争はバグダッド占領、イラクの武装解除、サダム・フセインの抹殺を目的とするから、イラクの二千五百万人を二十万弱の地上部隊で制圧することになる。ベトナム戦争以来の本格的戦争である。

今回の戦争を「正義」とはだれも思っていない。それが同盟政策の失敗だ。その反証のように、アメリカ、イギリス、オーストラリアの戦争主要国はむろん、それに追従したスペイン、イタリアではベトナム戦争以来、というよりそれ以上の反戦運動がまきおこるばかりか、中近東、イスラム諸国、さらにはフランス、ドイツはむろん、反戦運動とは無縁とされたスイスでもかつてない抗議の輪が広がっている。

### 情報操作

アメリカは一日も早く戦争を終わらせなければならぬ。したがって、一路、イラクの首都バグダッドをめざす。侵略戦争であることを覆い隠す必要からだ。「きれいな戦争であることを世界に宣伝するため、千人以上の従軍記者も動員する。

アメリカの広報機関と化したNHKはまる一日、「バグダッドまであと何キロ」と、アメリカ軍の情報を垂れ流す。さながら、アメリカ中央軍の報道機関と化したかのように。NHKの報道とは裏腹に、「従軍」ジャーナリストの死が相次いでいるとの情報もある。

戦争とは心理戦、情報戦。たたかいに勝つためにはどんなウソの情報も横手を振ってまかりとおる。「まかり通させなければならぬ」というのが戦争報道である。

戦争ぼつ発ともにアメリカの株価は上がり、原油価格は下がりつづけた。それに連動するかのように、日経ダウ（日本株価）も高騰。だが、日時の経過とともに株価は乱高下。ここに、「戦争が長引くのでは」との経済界のホンネが見え隠れする。

### アメリカはつねに他国を侵略

「自由と民主主義」の国・アメリカは、二十世紀、一八九八年の米西（アメリカ・スペイン）戦争で、ラテンアメリカ大陸での権益をスペインから奪取。それ以降、南北アメリカ大陸の超大国として、「中南米はアメリカの裏庭」と、アメリカの意にそわぬ政権が成立すると、直接の軍事侵攻、あるいは国内をCIA、FBI、巨大独占資本によって分裂させたうえで軍部クーデターを起こさせ、軍を派遣との手法で支配しつづけてきた。

もっとも近い例では、ハイチにおける軍事侵攻（一九九四年）、パナマ（一九八九年十二月）、グレナダ（一九八三年）、チリ（一九七三年）、七〇年代には中米諸国（エルサルバドル、ドミニカ、グアテマラ、ニカラグア）で反政府闘争が激化。さらに南米大陸のブラジル、アルゼンチン、ペルー、チリで債務が天文学的に増大。「債務不履行」宣言が相次ぎ、世界の金融市場を震撼させた。

対イラク戦争を思い起こさせるのがキューバ革命だ。この革命は一九五九年一月一日。主人公はキューバがカストロとチェ・ゲバラ、対するのがJFKことジョン・エフ・ケネディー。JFKは六一年一月に断交。四月にはキューバをめぐりビッグス湾に侵攻した。しかし、失敗。六二年にはイラクにおこなっていたように全面禁輸。十月には米・ソ時代最大の事件である「キューバ危機」がおこっている。

アメリカは、二十世紀、ラテンアメリカでアメリカの意に沿わぬ国に次から次へと軍事侵攻し、民意を圧殺してきたのである。ブッシュの政策は、この延長線上にある。「中南

米はアメリカの裏庭」路線から、「全地球がアメリカの裏庭」路線へである。侵攻の屁理屈として「テロ」そして「大量破壊兵器」がつけくわえられた。

### グローバリズムと国益

イラク侵攻はこれからの世界になにをもたらすのだろうか。

戦争開始の事前段階でアメリカは同盟政策に失敗した。国連、NATO、EUといった第二次世界大戦後の国際組織はズタズタに引き裂かれてしまった。世界の「分裂」でグローバリズムが崩れることを財界のお偉方は不安に思っているようだが、そのグローバリズムがアメリカの軍事進攻をもたらしたことを忘れている。

同盟政策の失敗は当然だ。というのは、湾岸戦はサダム・フセインのクエート侵攻が原因。クエートからフセインを追い払うというのが戦争の性格だった。しかし、今度の戦争はまったく違う。湾岸戦争以降、米と国連の管理下におかれ疲弊したイラクをさまざまに屁理屈で「悪」と断じ、アメリカがイラクに進攻・侵略したからである。植民地戦争である。

アメリカの戦争目的はただ一つ、フセインを抹殺し、フセインの武装力を解除することだ。そのためには全イラクが占領されなければならない。すでに述べたが一九八〇年代後半だけでもアメリカは中米諸国のドミニカ、グレナダ、パナマ、ハイチ等に軍事進攻しあつという間に占領した。グレナダは面積三四四平方キロ、人口十万人。パナマは七万五千平方キロ、人口三百万弱。ハイチ、ドミニカも人口一千万に満たぬ。しかも、利権はほとんどすべてアメリカに集中する。

イラクはこれら中米の国ぐにとは様相をまったく異にする。まず、イラク国内にいろいろの政権がない。だから、内部と呼応して侵攻し、イラクを内戦状況におけなかつたことだ。さらに地政学的状況にもいえる。面積は約四十四万平方キロ、人口は二千五百万人。石油利権は入り乱れている。さらに埋蔵量世界第二位の石油のゆくえは、周辺の石油産出国のみならず、世界の石油、金融資本の思惑をさらに増幅させる。グローバル化はこうして「国益」を表に出す。

### 軍事費の重圧

次は世界経済のゆくえだ。二一世紀に入りアメリカン・バブルは崩壊した。ニューヨーク・ダウは約一万二千ドルから八千ドルへと三五%ちかく下落し、ナスダックの指数は五千百ポイントから千二百ポイントはじつに七七%強へと急降下している。株価上昇で消費は拡大をつづけ、アメリカの貿易赤字は毎年新記録を更新しつづけた。そして〇二年度には四千億ドルをこえた。世界の経済はアメリカの消費にけん引された。フセイン抹殺でアメリカの経済構造が変わるとは考えられない。日本がバブル後遺症に十年以上悩み続けているように、アメリカでもバブル崩壊の影響がこれから本格化する。

さらに深刻なのは財政赤字である。ブッシュが示した〇三年予算案ははじめから三千億ドルの赤字。五百億ドル、一千億ドルともいわれる戦費がブッシュは七百四十七億ドルの予算案を議会に提出―これに乗せされる。したがって、〇三年度の赤字は減税策、税収の落ち込みとも相まって四千億ドルをはるかに超えることは間違いない。

この二つの赤字は世界経済に大きな影響を与えずにはいない。貿易赤字を減らすには輸

出をふやし輸入を減らすことが必要だ。アメリカの輸出品は農産物と兵器・航空機が中心だ。WTOにおける農産物貿易をめぐる交渉はさらに激しくなるに違いない。他方、兵器・航空機とはいえヨーロッパの企業合同体であるエアバス社がジャンボ旅客機を製造するボーイング社を凌駕しつつある。また、輸入減らしはアメリカ市場を最大の輸入さきとする日本、中国、そしてアジア諸国の経済を直撃する。

財政赤字はさらに深刻である。ドルが大量にばらまかれる。とうぜんドルは減価する。ドル安である。ドルはユーロに振り替えられる。しかし、ドルの弱体化は世界経済の弱体化をもたらし、世界の経済・財政をさらに動揺させる。ユーロの誕生でEU諸国は財政赤字はGDPの3%以内と定めたが、すでにイタリア、フランス、ドイツというユーロ圏の主要国で3%を突破しているからでもある。

### 次は「北朝鮮」包囲網？

小泉はブッシュを支持した。NHKはアメリカ国防省の広報メディアと化し、二四時間、戦況を流しつづける。こうして、戦時ムードがつけられる。戦争は狂気である。巻き込まれ支持ムードが高まる。戦争は一部の人を除き「愛国者」とする。

小泉―外務省―日本政府の「アメリカ支持」の論理はブッシュ以上に粗雑かつ情緒的である。「朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮と略記）はイラクのフセインよりさらに悪い国」、「日本にミサイルを撃ち込んだ時日本単独で守れるか」というのである。「アメリカの支援は絶対不可欠。そのためにもアメリカを支持しなければならん」、さらに、「日本は中東に石油エネルギーの九〇%をたよっている」と。

日本政府の目はイラクではなく、「イラク後」の朝鮮半島にすでに向いており、そこから安保政策がつけられているのである。イラクへの侵略戦争はバグダット占領で「終結」が宣せられる。その時、北朝鮮に核開発、ミサイル、拉致を口実に包囲網がつけられる。アラビア海、地中海から空母群が日本海、東支那海に回航される。イラクは何千キロにも離れたところ。朝鮮半島といえば日本海という「内海」とわずかに隔てられるだけ。戦争の狂気はこうしてさらに増幅される。

### アフガン、そしてイラク

今回の戦争の性格はこうして明らかになる。まず侵略戦争ということである。今回のイラク侵攻についても「なんでこんなバカなことを。イラクは監視・統制されつづけてきたじゃないか」、「他国を攻める国力なんかちつともないではないか」、「だのになぜー」と。

これと同じことをアメリカは二〇世紀の中南米で何十、何百回とくり返してきた。その地球版が始まったということだ。アメリカは「自由と民主主義」の国ではない。アメリカ流の「自由と民主主義」に抵抗し、自主的に自立しようとする国を、圧倒的な軍勢力と経済力で踏みつぶしてきた国である。

〇一年九月十一日は、「なぜアメリカが狙われたのか」を考える日でなければならなかった。同じ九月十一日、私には別の想いがある。二八年前の一九七三年九月十一日だ。チリの民主政権がアメリカによって血の海の中で崩壊させられた日である。それは中南米大陸の地域紛争として当時はあつかわれた。今でもそうである。

アメリカは〇一年の九月十一日を契機に、「テロ撲滅、大量破壊兵器拡散阻止」を名目



に、「刀狩」を全地球規模で開始した。あのアフガニスタンへの戦争、そして今度はイラクである。アフガニスタンとアメリカでは戦力的にくらべものにならない。アメリカが今ではアフガニスタンを「実効」支配する。戦争からはや二年になるというのに、アメリカは部隊を引き上げることができない。いぜん毎日のように空爆が戦闘がおこなわれ、生命が奪われつつけている。イラクでも同じことがくり返されることになる。(伊勢 太郎)

#### ◇文芸春秋社刊◇

### 『フィデル・カストロ』のおもしろさ

今年 キューバ革命の源流であるホセ・マルティ生誕一五〇年、カストロ蜂起から四〇周年となる。あなたはキューバでなにを思い浮かべるかしら。葉巻それとも砂糖。スポーツ好きは野球、女子バレーかも。

ヒゲのおじさんって知らないかな。つい先日、日本にやってきた。広島では平和記念公園を訪れ、「このような野蛮な行為を決しておこすことがないように」と記帳したよね。だれだったかだつて。カストロさんだよ。聞いたことあるだろう。キューバ革命の指導者で国家元首なんだ。一九二六年八月一三日生まれだから、今年七七になるおじいちゃん。けれど世界でいちばん注目される人でもあるんだ。「二〇世紀は社会主義の時代」と言われたよね。社会主義革命を成功させた人物はみんな死んじゃった。生きてるのはカストロおじさんだけ。だから、カストロおじさんが、キューバをこれからどうやって指導していくだろうと注目してるんだよ。

そんなに有名な人だったら、伝記や本がたくさんあるだろうって。それがないんだよ、ほとんどない。国際化、国際化と日本はいま騒いでるけど、日本てのは島国なのかな。だけど、おもしろい本が出されてる。文芸春秋社という反動的な本屋さんから『フィデル・カストロ カリブ海のアンチヒーロー』との題名でね。筆者はタッド・シュルツさんといって、ニューヨーク・タイムズの記者だった人。「キューバ危機」の時には当時のアメリカ大統領 J・F・ケネディーに意見を求められたくらいのカストロ通、カストロ通なんだ。

その彼が、この本を書く時、カストロに四回もインタビューし、「何を書いてもいいよ」と言われたつてんだから(本書、三八七頁、訳者あとがき)、カストロさんはシュルツを信頼してたつてわけさ。政治家がブンヤ、物書きに「何書いたつていいよ」とは、かたんには言えるものじゃないからね。だから、これまで日本ではわからなかったカストロおじさん、キューバ革命の実像がほんとうにおもしろく、生き生きと書かれてる。

あなたにこの本をぜひすすめたいな。だつてあなた、いま不安でいっぱいだよ。この本読んで、カストロおじさんが、どんな苦勞のなかで、キューバ革命を成功させたか、その苦勞をどんな考え、難しい言葉で言えば哲学だよ、をもつて克服してきたかがわかると思うよ。

あなたと哲学は違うかもしれないね。しかし、激しく揺れ動いている現代をどう生きていくか。この本の著者シュルツさんとカストロおじさんから、たくさんのことが学べると思うよ。

なにになに、「能書きはいいから、ためになるとこはやく教えろ」だつて。わかった、だ

けど本を読む、とりわけキューバ社会主義について知ろうってんだから、あなたも多少苦  
勞しなきゃだめだよ。

カストロさんのキューバでいちばん知りたかったことは、カストロおじさんがなんで社  
会主義に関心もったかということ。だってカストロ家は「一万五百ヘクタールあまりの地  
所を有する」(二五頁)大地主だったんだ。小作人が三百世帯もいたってんだからたいへ  
んなもんだよね。カストロは、貧乏な小作人のことをつねに考えつづけ、キューバがアメ  
リカの支配下にあることを気付かされたんだ。

その背景に、キューバ独立の英雄ホセ・マルティという人がいるんだ。彼は一九世紀後  
半の思想家・革命家で、アメリカからの独立をめざしたんだよね。カストロはハバナ大学  
の学生時代(一九四五年)に政治運動に飛び込んでいく。著者はこの頃のカストロを「ド  
ン・キホーテ」と呼んでるよ。

セルバンテスの「ドン・キホーテ」とはぜんぜん違うよ。「ドン・キホーテ」カストロ  
は、過去じゃなくて未来をめざしたんだから。いかに未来をめざしたかは、学生運動の闘  
士として頭角をあらわした叙述(三五頁以降)が、胸をワクワクさせてくれると思う。

もつとハラハラドキドキがモンカダという軍の駐屯地を襲撃したときだ。一九五六年七  
月二六日のことで、大失敗し、カストロはつかまって監獄にぶち込まれるけど、希望を失  
わないんだ。当時の支配者はアメリカのかいらいであるバチスタという將軍。彼はカスト  
ロを殺そうと試みるんだけど、カストロが国民の英雄となり、殺せなかった。このへんは  
じつにおもしろいと思うよ。

釈放されたカストロがシエラ・マエストラ(山の名)に根拠地をつくり、陣地を拡大し  
ていくようすが、こんなに雄々らかに、かつ生々しく描かれている本は、はじめてだと思  
う。じつは、ぼくは学校でスペイン語を勉強し、キューバをはじめラテンアメリカの本は  
けっこう読んでるんだけど、こんなにドキドキハラハラを経験ははじめてなんだ。これま  
で世に知られなかったキューバの革命、そしてカストロの役割をこんなにあざやかに描き  
きつた本はないよ。

いまでも世界に若者の大人気のゲバラとの出会いと別れも興味しんしんだよ。二三年前  
の年末から年始に「ゲバラ展」(八重洲ブックセンター、東京国際フォーラム)は、その  
反映だろうね。つい先日には、東京ではボックス中野で「チェ・ゲバラ」という映画が上  
映された。好評だったよ。ひよつとすれば、あなた「かっこいい」なんて、ゲバラのTシ  
ヤツ着てるかもね。

この他、この本には一九六〇年代、世界を「核戦争か」と、第二の「広島・長崎」にお  
いこんだ「キューバ危機」(一九六二年十月)について、これまで知ることがなかった真  
相が、カストロおじさんの生の声で伝えられている。

あなたは、この年前後に生まれ、「キューバ危機。ソレなによ」とおっしゃるだろう。  
この時、世界は核戦争の危機だったんだ。「J・F・K」は譲らない。しかし、当時のソ  
連書記長フルシチョフが譲歩し、世界破滅の危機は救われた。とにかく読んでみてよ。

あなたのこれまでの価値観、さらには生き方に大きな影響を与えてくれる本だと思う。  
とくにアメリカがイラク侵略を開始した今、この本はラテンアメリカ諸国でアメリカが  
二〇世紀という一世紀の間、何をやったかを教えてくれるはずだよ。

(滝野 忠)

# 解雇の嵐 闘うしかない

— 労働相談の事例から —

## 過去最大の件数に

二月二〇日から二二日に特別相談日として「首切り反対・均等待遇を、パート・非正規ホットライン」を開設した。期間内の相談件数は一五件であった。

特別相談期間以外にも、電話帳・インターネットまた口コミで日常的に労働相談が寄せられている。

二〇〇二年七月以降の相談件数は二月末現在一六〇件となっている。正式な統計を出していないが、一九九五年の震災後の「阪神大震災労働・雇用ホットライン」を除けば過去最大件数となっている。

一六〇件の相談の内二〇〇三年一月以降の相談に絞って状況を報告する。

一月以降の相談件数は六三件あった。内訳は解雇（雇い止め）二五件、雇用不安三件、労働条件の不利益変更九件、賃金（残業手当て）未払い九件、イジメ六件、社会保険・有給休暇四件、ユニオン三件、労災一件、セクハラ一件、退職否認二人、経営者の資質一件、経営者から一件であった。（一部重複）

主な相談の内、具体的な事例を紹介する。

- ① 解体業 男性 仕事をしたが二三日分の賃金が支払われていない。
- ② 病院 女性パート 社会保険への加入を申し出ると解雇された。
- ③ 販売店 女性パート 一日二〇時間働いているが八時間分しか賃金が支払われない。おまけに一時間六〇〇円しか払われない。「おかしい」というとこの業界では常識だと言われた。
- ④ 建設業 男性正社員 会社から社会保険を辞めて自分でかけて欲しいといわれ、やむなく合意したが、調べてみると、その時点で離職扱いとなり、雇用保険も抜かれていた。
- ⑤ 飲食店 女性パート 契約の途中で、再度二月二十五日までの契約を結べといわれた。店は翌日から改装し数日後にオープンすることになっている。会社は新しいパートの募集をしている。
- ⑥ スーパー 女性契約社員 三月末でこれまでであった手当てをカットし、ボーナスもなくすると言われている。
- ⑦ ビル管理 男性パート 定年はないと言われていたのに、三月末で契約満了と言われた。
- ⑧ 清掃 女性正社員 二月の途中から正社員全員がいったん解雇され、別の会社名でパートとして雇用されるという。有給も手当ても廃止される。
- ⑨ 衣料販売 男性 正社員賃金の遅配が続くので退職を申し出たが、辞めさせてもらえない。
- ⑩ 病院 女性正社員 契約と違うので退職を申し出たが、一カ月前に言わないと辞められないと言われた。
- ⑪ 製造業 男性正社員 仕事を遅いと突然解雇を通告された。

## 相談から交渉へ

こうした相談を受けて助言し、会社と本人が話し合っても解決しな場合、武庫川ユニオンに加入して会社と交渉していくことになる。この間交渉した事例を紹介する。

① ビルメン会社 残業手当での未払い 団体交渉の結果、過去三年分の残業手当で未払い分の支払いで合意。

② タクシー 毎週、規定の労働時間働いてきたが、一カ月の収入が最低賃金に達しない。過去二年にわたり、差額を支払う。

③ 外国語学校 受付正社員 突然解雇、解決金の支払いで和解。

④ 宝塚ガーデンクリエーティブ 女性パート 一年雇用契約直後に解雇された。団体交渉決裂。現在裁判で係争中。

⑤ 特別養護老人ホームさぎそう園 労働条件の改善を求めてユニオンに加入し団体交渉を求めたら、三月末で雇い止めと言われた。裁判準備中。

⑥ 清掃会社 突然正社員を全員解雇し、別会社でパートとして雇用された。団体交渉を申し入れ中。

⑦ 印刷 男性 年俸制が導入され大幅に引き下げられた。現在団体交渉を申し入れ交渉中。

⑧ 個人経営 女性賃金未払い・解雇予告手当で未払い交渉に応じられず、簡易裁判で勝訴したが、また回収できていない。

上記以外にも、交渉が展開されている。

### 安易な解雇が増大

相談で最も多いのは解雇・雇い止めが二五件で全体の約四〇%を占めている。これらの解雇の中で、権利の主張をしたための解雇とか、極めて安易な解雇がめだつ。最近大手を含めてリストラが展開され、多くの労働者が職場を追われているが、反撃が表面化していないので、経営者が解雇は簡単にできるものと思いつているのではないか。もちろん経営が厳しくなっていることも背景には存在するが、一人の労働者の生活に大きな影響を及ぼす解雇が安易にすすんでいる状況に警鐘を鳴らさねばならないと思う。

### 労働条件の不利益変更も増加

一方的に手当てを削減したり、正社員を解雇しパートとして雇用するなどという荒っぽい事態まで発生している。

働く側も、雇用不安の中で、反対できず、会社提案にやすやすと応じてしまうという弱点を露呈している。

### 労働基準法違反も目立つ

最低賃金違反、残業手当での未払い、賃金未払い、雇用保険・社会保険未加入など基本的な権利を守ろうとしない悪質な事例も目立っている。

今後三月末を前に、雇い止めや解雇が発生する事が予想される。あきらめるのではなく、自らの働く権利を学び自覚し、不当な内容には自ら声を上げていく以外にない。私たちももっともっと仲間呼びかけ、働く仲間の反撃を支援し働く者の運動をさらに大きくしていきたい。

(武庫川ユニオン)

## 労組が対イラク侵略戦争に反対声明

殺人鬼ブッシュがイラクに侵略戦争を開始した。アフガニスタンへの侵略戦争もそうだったが、両国の戦力比を冷静に分析するまでもなく、屠殺（とさつ）、皆殺し戦争、さらにはえばその昔貴族、武士階級が楽しんだ狐狩り、鷹狩りにも匹敵する。「正義の戦争」との評価は皆無である。すっかり物分かりよく、音無しくなった労働組合からも反対、抗議、停止を求める声明がぞくぞくと発表され始めた。

連合は「残念であり、極めて遺憾」との立場から「あくまでも平和的解決を求め」「即時停戦を実現させる」と、(1) 国連は早急に停戦とこの問題の平和的解決を図るため、あらゆる手段を講ずること、(2) 攻撃に参加している各国政府は即刻、戦闘を停止すること、(3) イラク政府は、早急に国連決議一四四一に全面的に協力し、大量破壊兵器を廃棄する声明を出し、事態の収拾を図ること、さらに(4) 日本政府に対しては日本国憲法を遵守し、国連の重要な一員として各国政府と連携し、事態を収拾することを求める。

全労協(全国労働組合連絡協議会)は、「二世紀を『平和の世紀』、人類の『共生・共存の世紀』にしたいという世界の民衆の願いをうち砕くもの」、「国連無視、覇権主義の愚挙」と断じ、「イラクの次は『北朝鮮』『イラン』へと攻撃対象を拡大してゆくことは明らか」と、多くの労組・団体、市民団体、宗教者団体等と「共同闘争」を拡げて全力でたたかうとしている。

メディアの労働組合である民放労連(日本民間放送労働組合連合会)は、「この戦争には正義のかけらもない」「アメリカ・ブッシュ政権とそれに追隨する一部諸国政府の行動は、平和維持のための国連の基本的機能を危機的状況に陥れるもの」と、「ただちに中止」を求めると同時に、日本政府に「アメリカに戦争を中止させるため最大限の努力を払うべき」と声明する。

交通運輸産業の中核である私鉄総連は、(1) ブッシュの対応は「平和を破壊するおそれのある国際紛争の解決は、平和的手段で解決する」とした国連憲章第一条の違反で「愚挙・愚行」、(2) 小泉がブッシュに盲目的に従属したことは、戦争を否定し平和主義に基礎を置く日本国憲法の精神を踏みにじるものと強く批判し、(3) いかなる戦争にも断固反対。平和と民主主義を守るため、アメリカによるイラクへの軍事攻撃と日本の戦争加担に対して反対する決定を明らかにし、運動を展開するとしている。

### ◇ 読者からのおたより ◇

チラシです たいへん粗雑ですが、チラシを送付します。メモにある労連の集会は酒田(山形県)地域のもの、県民会議は昨年十一月に、戦線を拡げようとの注文で新社会党、医労連、生協が入っています。(酒田・T)

編集部より 過日はお世話になりました。推せん候補全員の当選めざしご奮闘を。

カストロさんがやってきた 皆様お元気ですか? この前、三月三日にキューバのカストロ議長が広島に来られました。来広はカストロ議長長の願いでもあったとのこと。私も平和公園に行きました。革命家をひと目見たさの市民も大勢出迎えていましたよ。警備が厳しく近寄れませんでした。一〇メートル位のところでカメラに議長長の姿をおさめることはできませんでした。日本に来られるのは最後かも… いつまでも元気でいて下さいと祈るのみです。(広島・K子)

編集部より カストロさんとキューバの近況について書いてみました。

### 地方自治法改悪で

No.八六一号の「読者からのおたより」を読みました。今すぐに報告できる状況にはありませんが、そのうち資料等をお送りいたします。昨年に地方自治法が改悪されて、住民監査請求、住民訴訟は住民側にとって大変やりずらくなっています。労組も政党も反対しなかったツケが一般市民がかぶることになっていきます。今回の訴訟は法手続きのころの入口での闘いになって、時間かせぎで移譲は阻止できません。とりあえずはホームページをどうぞ。(北海道・K)

### 編集部より

資料とたたかいた報告、首を長くして待つておりました。私の総括、展望 とうとう、大変な事態が進行しています。したがって、この闘いの総括が不可欠と考え、その素案となることを願って、振り返ってみました。個人的にまとめましたので不十分な箇所もあるかと思いますが、諸兄の意見・考えを足すなどして、それぞれの所で仕上げたいだけだと思います。また、ここはこうではないか、などの意見があればおきかせ下さい。それにしても、次期全国大会は役選の大会です。国労再建を望み、断行しようとする仲間が一人でも多く代議員になられることを期待します。(東京・S)

### 編集部より

長大な文書、ありがとうございます。

さっそく一読。問題はこれからどうするかです。私なりに考えています。

### 反戦運動

英国の二人の鉄道労働者は一月七日、兵器輸送を拒否し、国防省は秘密裡にトラック輸送に切り換えた。米国では百余の労働組合(二百万人以上)が反戦決議を行い、この中にはAPWU(米国郵便内勤労働組合)という全国組織の名もある、日本において、郵政全労協(六百人)と郵産労(五千人)等は反戦活動に取り組むが、全郵政(八万人)と全通(一四万人)の連合二労組が取り組んだという話は寡聞にして聞かない。(東京・N)

### 編集部より

とうとうアメリカはイラクに侵攻開始。ゆううつな時間が流れそう。

### 国債バブル

「株価バブルの次は国債バブル、アルゼンチンの次は日本との警告もかき消し、国家破産へつき進む日本。勤労者も備えなくては」最近思うことです。(東京・I)

### 編集部より

おっしゃるとおり。しかし、どう備えるかが問題。考え聞かせて。

### 父の看護で

父の看護等で、公私とも忙しくなりました。夜の活動も制限される毎日ですが、まあ、あせらず。と言ってる情勢じゃないか？(東京・H)

### 編集部より

Hさんも！ 私どもも同じ。つれ合いも先月是一日置きに実家の土浦へ。現況 昨年九月末、日本クラウンより「緒方町慕情」と「時代遅れの田舎坊」をテープで発売して、時々、田舎のショーに出たりしています。残金の二千八百円は購読料に困っている人たちに余部があれば送って上げて下さい。芸名は赤木裕次郎です。(大分・S)

### 編集部より

お心遣いに感謝。めちやくちやな賃金カットと首切りで、「滝野さん申し訳ない。生活苦しくって」という読者がふえてるんです。その中のお一人にSさんからのプレゼントという事で送らせてもらいます。それにしても相変わらずのごようす。赤木裕次郎なんて欲張りすぎ。でも田舎のショーでは受けるかも。それもわれわれ以上の世代の人だけかも。

### 賛同を

核兵器廃絶、非核三原則厳守などを求める非核宣言を行った地方自治体は全国二千六百に達しています。神戸市が一九七五年以来実施している非核「神戸方式」(神戸港に入港を希望する軍艦に非核証明書の提出を義務づける行政措置)は自治体・議会と市民の共同の力で平和を実現する好例です。これまで函館市(一九九年)、横須賀市(〇一年)、鹿児島市(〇二年)で行われてきた「非核・平和条例」制定運動を全国に広げるために、非核「神戸方式」発祥の地・神戸市で「全国交流会」を開きます。実行委員会へのご参加と集会への賛同をお願いします。賛同金は一口団体五千円、個人一千円です。連絡先は 神戸市中央区雲井通一―一―二二五 神戸地区労内「非核・平和条例を考える全国交流会」神戸市 実行委員会。TEL〇七八―二二二―一八三八、FAX〇七八―二二二―一八三九です。

### 編集部より

私も賛同します。別便にて連絡です。読者の皆さんにもおすすすめです。

### 久々の短歌

ノーと言う トルコの国会 みごとなり 巨額の支援を きつぱりと揆ね/ジェンダリーの言葉が勝手に一人旅 巷に根つき芽吹きの日は何日/春になり少しは短く髪を切り 淡いセーラーに着替え鏡に (神戸・満開の桜子)

### 編集部より

戦争、男女平等、春。春の歌、情景が目には浮かびます。

### 読書から

仲間から送られてきたアメリカ労働運動の先駆者『シドニー・ヒルマン』の伝記を読んでいる。①組合運動の創設者には、思想と犠牲的精神がなければならない、②自己犠牲を払う人ただけが、組合の仕事にたづさわる資格がある、③労働組合運動が、私たちが身につけた理論の最良の学校、④金儲けより素晴らしいものを信じている人たち。その素晴らしいものに、生活を捧げている人たちがいるという事実の、生きた実例が労働組合運動の中にあつた、に感銘。(横浜・K) 編集部より おっしゃるような労働組合をつくってきたい。尼崎の武庫川ユニオンからの報告は、つくられること、つくらなくてはならぬことを示しているように思います。